

第27回ゴミパイプライン協議会

会議名	:ゴミパイプライン協議会
開催日時	:2019年11月30日(土) 10:00~12:20
場所	:芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	:山口委員長, 友田副委員長, 春木委員, 大永委員 三浦委員, 大田委員
市より	:森田部長, 藪田課長(司会進行), 林課員
傍聴者	:3名

○市 おはようございます。定刻となりましたので、第27回ゴミパイプライン協議会を始めさせていただきますと思います。

本日、尾川が欠席のため、私のほうで司会進行を務めさせていただきますと思います。よろしく申し上げます。

早速ですが、1つ目の議題に入りたいと思います。パイプライン運転報告について、資料1を使って林から説明させていただきます。

○市 おはようございます。芦屋市の林です。

資料1に関しまして、パイプライン運転報告をさせていただきます。前回から期間があきましたので、日数的には8月17日から11月23日、約99日間の運営報告になっています。

今回資料は2枚ですが、1枚目は両面でシステム異常発報の対応、2枚目の表面で利用者からの連絡対応、その下に巡回及び定期点検で発見された不具合等について記載しています。前回からの指摘で2ページ目の上、利用者からの連絡対応について、今まで電話だけの問い合わせだったのですが、メール等も記載をしてほしいということがありましたので、そちらも記載させていただきました。

まず、表面のシステム異常対応について御説明させていただきます。前回からレベルがA、B、C、それぞれ異常に対してどれぐらいの度合いかという表現として、A、B、Cをつけております。実際に全件としましては55件あったのですが、1ページ目をめくっていただいて真ん中、A、B、Cが何件あったかそれぞれを記載させていただいております。55件中32件がセンターの遠隔操作により回復したものになります。A、Bの対応をしたものが、そのうち22件、Cに関しましては1件、こちらは後ほど

説明をさせていただくのですが、新浜町で停止につながった異常になります。

資料1の表面のシステム異常発報対応について、複数回あったところに関しまして御説明させていただきます。1番の左のナンバーを言いますと、14番、17番、裏ページの49番、50番。投入口番号といたしましては、高浜町の5029、スクリュウ、ブリッジ、レベルとしてはAでモニター解除になります。こちら99日間で4件発生しております。

14、17と49、50が約2カ月間あいております。14、17に関しましては、センサー部分にごみが付着したことによる異常と考えられます。それでまた2カ月間あいて、同じようなセンサー部分にごみが付着して、連続して出てしまったと考えられます。運転等でまたそのごみがセンサー部分からとれて、解除されたと推測されます。

ほかに3回あったのが、ナンバー5番、16番、34番。投入口番号で緑町の11051、吸気弁の解除等で異常が出ており、こちら全てセンターでの解除で復旧しております。これも約1カ月間隔で発生しており、こちらのシステム異常発報等の報告等では表現はされてないですけど、この間に定期点検等に入るタイミングがありましたので、現場で点検等は行っております。

1枚目の裏面、真ん中で、過去2年間の総数の比較を行っております。ことしに関しましては55件、1年前は20件、その前が42件と件数で言うことしが多いですけど、昨年度に関しましては、西日本豪雨等が発生した影響があつて、運転していない地域が多かったため、ことしは運転している地域が多かったので件数もふえていると推測されます。

2ページ目の表面、利用者からの連絡対応につきまして合計で14件ございました。そのうちナンバー9番と11番で、鍵の開放置で鍵穴をあけたままで、最後12時の方向に戻さずにそのまま放置されて、次の方が投入することができない状況が2件ございました。

また、誤投入も3件ございました。誤投入に関しまして前回の協議会で、投入された状況を報告してほしいということがございましたので、この3件につきまして現場で対応する際、私も現場に行きまして、投入された方と話しまして、どういった状況で誤投入されたかを確認しました。

ナンバー2番、8月26日月曜日、投入口番号でいいますと緑町の11129。こちらに関しましては現場に行きまして、搜索して誤投入の携帯電話を返しております。状況に関しましては、ごみ袋と携帯電話を持ってごみ袋だけ投入するつもりでしたが、無意

識のうちにごみ袋と一緒に手に持っていた携帯電話も捨ててしまったようです。その後、自分の携帯にかけてみると、投入口の中から音が鳴ったため誤投入したことを確認して、うちの事務所に電話した流れになります。

次は7番、9月26日。こちら僕の間違いがありまして、投入口番号が緑町の111029と書かれていますけど、高浜町の投入口番号5039です。申しわけございません。

こちらに関しましては、投入された状況としましては、ごみの入ったビニール袋と自分が必要やったビニール袋を手に持っていて、ごみのビニール袋を入れるつもりが必要なものが入っていたビニール袋も一緒に捨ててしまったようで、それも実際、投入口下の貯留槽からごみをたくさん出したのですけれども、そのときは見つからず、一応投入された方に説明して、これ以上、中を全部出したのですけど、ありませんでしたということで御理解いただいて、そのまま搜索は打ち切りました。

次が14番、若葉町の8079。こちらの誤投入に関しましては、こちら最初8月26日の件と似ていますが、ごみ袋と携帯電話を持って投入して、これも無意識に、ごみだけ入れたつもりが携帯電話も入れてしまって、自宅を搜索したのですが見つからず、多分投入口に入れてしまったらというので、こちらに電話をいただきまして、探してみたらごみの中から携帯電話を見つけまして、御本人さんに返却をいたしました。

利用者からの連絡対応については以上になります。

件数につきましては、今年度が14件、昨年度が4件、2年前は15件となっております。こちらシステム異常発報と同様に昨年度、その前も運転してない地域があったのでばらつきはあります。

続きまして、その下の巡回及び定期点検で発見された不具合等については、こちらでは、主には巡回で発見されているのですが、ナンバーで2番と5番で、鍵穴が開の状態に放置されていたのが2件ございました。

1枚目の表面、4番は、この中で唯一レベルCをつけさせていただいているのですけれども、新浜町で閉塞した箇所になります。これは閉塞の初期段階という形で、最初異常で発見されて、この異常で現場に行ったら閉塞が確認できました。

この停止について、前のプロジェクターで説明させていただきます。パイプラインの運転停止についてという形で、停止場所につきましては、こちらの新浜町のラ・ヴェール敷地内で停止が発生しました。残りの新浜町の投入口については運転を実施して

おりました。

これは前回、私と藪田が出席させていただきました利用者の会の資料と一緒にものになります。輸送管のこの間で閉塞が確認されまして、それぞれ作業1日目は黄色の部分3カ所のごみの状況。次はナンバー2の水色の箇所、最後ナンバー3の赤い箇所で作業を行いました。点検口があるのですけれども、ここで上流、下流、それぞれ見ていたのですけれども、黄色の下流のここはとれたのですが、この図面のように90度曲がったり、下がったりする部分がありましたので、これ以上、点検口から赤い部分、ごみの除去作業ができないことになりましたので、新浜町のラ・ヴェールの前の道、こちらを掘削いたしまして、輸送管の上部に入管できる入管口をつくりまして、そこからまた洗浄、入管作業をしまして、最後赤い作業3の箇所で除去しました。作業1、2、3で発見されたごみについて、次のページで示しています。

さきほどの位置で発見されたごみにつきましては、主に投入できないごみとしましては、ビニール袋に入った雑誌、チラシ、作業2でもビニール袋に入ったチラシが発見されております。最後赤い部分、こういったところではそのまま雑誌、チラシ等が堆積しておりました。

赤い部分、作業箇所3でのごみの閉塞の写真です。こちら左手の下を見たら、作業3の箇所の先頭部分です。これが閉塞箇所の先頭部分。右手が閉塞箇所の後尾、一番後ろの部分になります。恐らく見た感じ、最初のところは、上のほうはまだ空気を通る穴があいていたのですが、ごみは後ろになるにつれて閉塞、完全に輸送管はがちっどごみを挟んでいるような状態になっておりました。

恐らく、今回の閉塞に関しましては、最初にどういったごみがきっかけで閉塞を引き起こしたかわからないのですけれども、こういった雑誌、チラシ等か、何かのごみが最初輸送管内に閉塞しまして、その後にとんどんごみが続いて輸送管の下にへばりついていった可能性が推測されます。

現在、この閉塞箇所の解消以降、通常どおり運転は行われております。

以上で、次第1の運転報告について説明をさせていただきました。

○市 今回の協議会、わけあって1カ月延期させてもらった都合があるので、3カ月間があったので件数がかなりたくさんになって、2枚になっています。申しわけございません。後ほどその他で説明させていただきます。

今の件に関しまして、何か御質問等がありますか。

○利用者の会 おはようございます。利用者の会の山口です。

幾つかあるのですが、まずこの表ですけど、今ぱっと思ったのですが、基本的に考え方として、すぐ直ったやつをずっと書いてあるような気がしたんです。ほとんどC以外はその日か次の日ぐらいに直っているんですけど、時間的にどのぐらいかかったのか、どこで検証したらいいのだろうと、今後考えないといけないんですけど。

その話と続く、これが問題です。第1住宅で異音がするという話がありました、投入口から。それはどこでどう捉えたらいいですか、載っているのですか。その辺のデータは全て載せないとならないですけど。例えば4月に発生して、これだと出ないですよ、その後どうなったか。その辺の書き方といいますか、その辺で第1住宅の異音の問題はどうやって、私たちこれで追っていったらいいのかわからないので、その辺ちょっと工夫しないといけないかなという気がしていますけど、どうでしょうか。

○市 芦屋市の林です。

表について、どういった形がいいか、またワーキング・グループ等で御指摘いただけたら、今回のようなレベルA、B、Cつけたように、この表は多分変えていってもいいと思いますので、していきたいと思います。

また、第1住宅の投入口番号4029、異音に関しましては、このシステム異常発報は、システム上に異常だと発報されたものを記載させていただいているのですが、異音に関してはシステム上では異常が出ていないため、こちらには記載していない状態になります。今の異音に関しましては、今、製造メーカー等も踏まえて調査をしているところになります。

○利用者の会 システム異常発報でなかったら、当然、利用者の方と私とここに来て、実際にお話をしたのです。それだったら、利用者からの連絡対応に書くのですかね。

何が言いたいかという、基本的に全てのデータをここに入れたいのです。後からそれを見て分析なり、今度どうするかを考えないといけない。今回なかったのは、実際に連絡を受けて、それが追えない状態になっていますので、そこはきちっと何月何日発生して、今も続いているなら、現在も調査中とか対応中とか何か書いていかないと。日々すぐ直るやつは、はっきり言って大したことはないでしょう。長い間、利用者の方に迷惑をかけているというかクレームが来ているものは、やはりきちっと載せて追っていかないといけないという考え方で、それは必ずデータとして載せるもの必要かと私は思います。

○市 芦屋市の林です。

今、御指摘のあったとおり、2ページ目の利用者の連絡対応について、書き方はどうするか、こちらを変えたいと思います。もう少しこちらに記載して、データとして残されるような形にしたいと思います。

○利用者の会 利用者の会の太田です。

潮見町に関してだけしか見てないですが、システム異常で、ナンバー18、23、同じ1200の投入口です。ここで開異常、23日も開異常。センターにてモニター解除で、同じことが繰り返されています。最終現場を確認して、どのような形であるか確認されているのかどうか。同じことが繰り返されているので、またセンター対応だけでは解除されない部分が出てくると違うかなと考えますけど。

また同じ番号で、28、30です。開異常。これは現場にて確認ということですが、日を改めて確認されても同じような現象が発生しているということですね。

それと43と47も、投入口12102、これは閉異常と開異常になっています。これも現場で確認されているということですが、同じような現象が続いて発生しとるということで、根本的に1回で直せなかったのかどうか、お聞きしたいと思います。

○市 芦屋市の林です。

まず、ナンバー18番、23番、潮見町の1200の遮断弁の開異常の件です。現場とも以前、こういった異常が連発したら、モニターだけではなく、現場に行きましょうと、回数的には、私たちも3回ほどで行きましょうと言っております。先ほど、私が最初御説明させてもらった、同じトラブルが短期間で起きて、現場に行かずに解除できても、何回かしたら現場に行こうというのは、前回、前々回の協議会でも御指摘を受けているところでして、こちら現場に伝えてはおります。今回も、2回ぐらいだったら行かなかった部分があると思います。

○利用者の会 次、発生したら駆けつけると。

○市 そうなのです。

続きまして、ナンバー28番、30番。私も現場に確認する必要があると思いますけど、1回目は多分、弁の動作確認等で清掃をしたのですが、翌2日後、再度同じ状況になりまして、その後、リミットスイッチ位置の調整を行って、その後は出ていないと考えられます。こういった現場に1回で行けなかったのか、再度現場に確認する必要があると思います。

43番、47番に関しましては、先ほど18番、23番と同様ですけど、短期間で同様の異常が出たら現場に行きましょと、3回以上出たら行きましょという形になりまして、これも、ほぼほぼ開異常か閉異常か違いはあるのですが、次ぐらいい出たら現場に行つて、何が原因かを見ていく必要があると思います。

○利用者の会 きちっと見ないと二重手間になる。

○市 そうですね。

○利用者の会 時間の無駄になる。

○利用者の会 利用者の会の春木です。忙しい中御苦労さまです。

3カ月でいっぱいあるので、一つ一つ見ていたら頭の中いっぱいになるのやけど。こういうのは非常に大事な故障トラブルとかいろんなこれを出してきて、これを出すことによって、今後の機器の不具合、故障、トラブル、重故障をなくす意味でも非常に大事なことなので、これをただ、こういうことはないとは思ふのやけど、載せるだけではなしに、これに沿う真の原因、考えることを全て上げて、それを一つ一つ潰すという日々の活動が、予防保全が非常に大事なことだと思うのです。

実際にやられているのかどうかわかりませんが、一つ一つ言うたら非常にあれなので、例えば以前から起こっているドラムのみ込み異常、これも毎回ここに載ってきていると思います。これは、主に南芦屋浜のほうだと思います。今回も陽光町のドラムでのみ込み異常が出て、のみ込み異常がぱっとあるのやけど。

結局のみ込み異常は、どういう原因が考えられるのかです。例えば、設備的にドラムの中の案内板とか、そういうところが痛んで外れかけいるとか、そういうことがあつても、そこにひっかかることになる。一方、住民サイドからしたら、そこにひっかかって、ひっかかったから、そこへどんどん積み上がっていつてということも、いろいろ考えられると思うのです。

だから、その辺を日常の管理の中でも、例えばこういう箇所でも毎回起こつるところであれば、一度ドラムの中に入って、周囲の状況を確認する。もし、何の異常もないのやつたら、住民サイドにこういうものをほかさされると、のみ込み異常を起こす可能性があるんで、「しっかりやってや」と言つて、そういうことを、日々アクションをとつていかんと減つていかんと思うのです。せやから、この辺もぜひお願いしたいと思つていますわ。

その地区の停止でいいかもわかりませんが、センターやつたら非常に困りますわね。

センターを見とつても、ブロワとかドラムがセンターで何件か起こっています。これもセンターの回数の多いところ、ブロワなんかも起こっていると、何故なのかということですが。

町名を見たら、ほとんど全て浜風町です。これはどういうことかな、不思議に思うのです。センターの異常は浜風町や、町名で書いてあるのは。これ、何か関係があるのかとも思うし。ただ単に町名が書いているだけで、別に問題関係ないのですわと言うのやったら、それでいいですけどね。

その辺、せっかくこれだけ表にしているんやったら、ぜひその辺つなげてほしいです。設備で今後こういうことをやる、あるいは利用者の会に、もっとこういうふうにちゃんとしてくれやと言う、そういうところをぜひお願いしたいと思います。

それと、利用者からの連絡対応にしてもそうです。今回、誤投入で、ちゃんとその人に面談したと、きょう聞きましたと。その報告で終わるのではなく、そういうことやから利用者の会、ここに出てきている役員に対して、ちゃんとこれを守ってくれよと、ごみをほかすときには間違ふような携帯だとか、ほかのやつ持って行ってほかすなど。結局、間違ふてほかすことになるのやから、ごみをほかすときは、それ以外持っていくなということストレートに言うてほしいです。それが大事なことやと思うのです。余計なものを持っていくなということ、そういうことが大事やと思うのですよ。

それと、巡回及び定期点検で発見された不具合などで、鍵穴異常があります。これはどういうアクションをとるのですか。ただ戻しただけですと、合い鍵で。正規の位置に戻しただけですか。何故途中でとまっているのですかということやね。それに対して、どうするのですかということ。

設備のほうですから、コインマスターというか、本体が悪くなりかけているのかもわからんし、住民からしたら鍵が摩耗しとるのかもわからん。せっかくここで代表も皆来ているので、住民サイドではちゃんと鍵を点検してくれと、ここの地区の。摩耗している人がいるのと違うかと、しっかり言うてほしいです。今度点検するときは、コインマスターとかその辺が痛んできてないかとか、そういうことをやってほしいです。

でないと、1個もなくならへんと言うたら語弊があるかもしれんけど、せっかくこういうことを出してきて、その後どうするのやというところが、非常に見えないうところが、私としたり非常に腹立たしいというか、思います。

せっかくこれやっているのやったら、まだまだこの裏に隠れてる弁にしたって、スクリーンにしたってそうです。「一体何でや」と考えられますわね。正確な真の原因は即わからんにしても、推定される原因は幾らでも出てきます。それに対して、どうするのやということ、その辺をオペレーター、作業員含めて、そういうことをやってほしいなと思います。

できたらオペレーター、作業員の方でも週1回か、月1回か、ちょっと時間とってこの辺について議論して、今後どうするのやということも含めて、やってほしいなと思います。その辺、何かあるのやったらの話。

○市 芦屋市の林です。

まず、のみ込み異常に関しましては、私も前回か前々回ぐらいのワーキング・グループで、私のほうで、のみ込み以上が南芦屋浜のドラムでしか起きないことですので、その件数をワーキングで出したと思うのです。私も、のみ込み異常が多いのはトラブル等でありましたので、あのときも表で計画書みたいなのを考えてはみたのですが、それのほかとか、のみ込み異常がどういったことで起きるのか、まだ試作にはなるのですが、イメージで、できればワーキングの場で、のみ込み異常ってどうなんだろうと、僕も次のつくってますので。

4月16日、のみ込み異常についての報告書、こういう順番でつけて、これをワーキングとかでみんなで話し合っ、のみ込み異常ってこういう過程でできるのやというのを、また話し合いたいなと思います。今はそこの前段階でとまっている。

○利用者の会 ぜひ。

○市 こういう流れでゴミがためられたけれども、まだ、つくっている途中でしたので。

○利用者の会 ワーキングで。

○市 そうですね。

○利用者の会 これらもそうです。構造機能、機能の原理からね。

○市 そうです。こういった紙ベースでやるって、こういった形で皆さんとお話できたらなど考えております。

○利用者の会 その辺しっかり。ほかのやつも同じで、センターもそうでしょう。ひっかかって、ここでもセンターでも起こっていたと思うのやけど、ブリッジが。ドラムとブリッジね。

○市 そうです、ちょっと1個ずつ。

○利用者の会 あの構造と同じ。何でブリッジが起こるのやということにつながるからね。

○市 そうですね、何個かつくりたいなと

○利用者の会 それをしっかりとね。本来やったら作業員がやらなければいかんけど、これを。作業員のリーダーが。高砂丸誠か。

○市 そうです。

○利用者の会 あっち側が真剣にやらなければならない。

○市 こういった異常に関しては、一応ワーキングとかで皆さんとどうしよう、どうしよう、設備なのか、利用者の会、使っている方が何か対応できることはないかという、そこら辺の線引きも含めて話し合っていきたいなと思っています。

○利用者の会 ワーキングでもベテランいうか。

○市 皆さん、ベテランの方が多いと思っていますので。

誤投入に関しましても、前回から現場に行って、どういった形でやったというのがあ
ると思いますので、実際、今回の3件については似ているというかありました。こう
いったデータを集めて、ある程度集まってから、こういったパターンもあるよ。そう
いったので、またこれも多分ワーキングで話したほうが良いと思いますので、私も。

○利用者の会 今のは、ここで3件同じ現象が起こっている。

○市 はい。

○利用者の会 そしたら、即そこで言わんと。即一緒に持っていくなということ、強く
利用者の会にアピールしなければならないわけや。せつかく話を聞いてもらっている
ので、まとめてはわかるけど、それは今後まとめたらええけど。

○市 それとは別に、まとめてはまとめてで、迅速にやるところは迅速にやる。

○利用者の会 そうそう、迅速に。きょう、ええチャンスやから。

○市 わかりました。

○利用者の会 それで言うて、作業員の人には、ちゃんと委員長初め、役員の皆さんみんなに指摘というか「怒ってたで」と言うといたら。

○市 そうですね、市民の方と一緒に取り組めて、トラブルが少なくなったらすごくあり
がたいと思います。

鍵穴異常に関しましては、前回のワーキングで、僕から先ほどののみ込み異常同様に
チラシをお渡しさせていただいているのです。12時の角度から3時に戻して、また3
時から12時に戻す。言葉で説明するのはあれなので、藪田とかと相談しまして、見え

る化という形でここに赤いシールを張って、赤のシールまで戻しましょう。すごくシンプルな言い方で、トラブルがないかというので、これはあくまでも私たちの案で、どうでしょうという形になります。

また、こちらで、ワーキングでもっとこうしたらいい、ああしたらいいとかあれば、これに対して追加するのか、修正するのかあると思いますので、それでトラブルが減っていったらいいと思います。

○**利用者の会** その辺は、1回言うて100%よくなることは余り考えられない。

○**市** そう、100%を目指すのは。

○**利用者の会** それだからこそ、起こったときに、そのときにつかまえて、何回も何回も繰り返すのが大事なので、せっかく今がええチャンスで、環境処理センターはちゃんとコインマスターとその辺で、点検のときにちゃんとする。一方、住民はちゃんと決められたとおりのことを守ってくれということよね。前、まとめたあれについてもこれ書いているので、これでちゃんと戻す。せやから、それ「ちゃんと守りなさい！ちゃんとやってや」ということで利用者の会に投げかけてほしいわけ、何回も何回も。

○**市** そうですね、多分、特定の投入口になると思いますので、そういった場所、場所できょういった掲示をさせていただきますして、それで結果が出れば啓発という形は、結果が出たなという形になると思います。それは多分、先ほど春木さんが言われていたとおり、この資料に対しても次のステップになると思います。

○**利用者の会** これ、減っていくように考えて、アクション。何回も何回も繰り返さんとだめやね。

○**市** わかりました。

○**利用者の会** 利用者の会の山口です。

以前、この表をつくったときに、基本的な考え方はまず現状を把握しましょうと、できたことは全部入力しましょうということで、これをつくったのです。今、ずっと話を聞いていて、次のステップに移らないかんかなという感じがしたのです。次のステップ何かというと、例えば今のキーは何かというと、これは発生時期なのです、このレポートはあくまでも。この発生時期も非常に大切ですけども、(EXCELの)ピボットテーブルみたいなものを利用して、今度はキーを変えると。

例えば箇所、投入口番号で見たら、この番号は一体どんなトラブルが過去、どんな形で起こったのかを見ることができるよう。例えば1年間だったら5回ありました

よ。その5回はいつ発生して、どんな原因かという投入口をキーとした分析の仕方とか。

今度は原因、ここに書いてあるドラムがあって、ドラムというトラブルがどこで何回、どんな形で起きているのかというキーで見ると、またそこに今度は具体的な対策とか原因を分析できる。そういう分析の仕方に移らないかなのかなと思います。

それで提案ですけど、私のほうで一度そういうたたき台をつくって、こういう形で、例えば投入口別に見ると、ことし4月から今まで何回起きて、それぞれどうなっているのを見ていくとか。原因別に見たらこうなるよとか、そういう分析の仕方も第2ステップとしては必要かなと思っています。一応、次回までには私のほうでたたき台をつくって、ワーキング・グループでお見せするなり、何なりしたいと思っています。よろしいですか。

鍵の問題はナンバー5できょう話し合う、ちょっと提案になりますが、そこでもう少し詳しく見ていきたいと思います

○**利用者の会** 利用者の会の大田です。

この工事施工箇所で、この写真ですけど。

○**市** 次で説明します。

○**利用者の会** さっき説明あったけど、次ね。

○**利用者の会** 利用者の会の友田です。資料作成、御苦労さまです。

今、忙しいと思いますけど。誤投入が、今回このデータで3件、私の個人的な誤投入に関しては、この汚い中で投入したら、引き取りはやめだと、それは一応来年の4月ぐらいから、個人的な意見ですけど、拾わないよという感覚を持っているのです。作業する方も大変だし。

ですから、その間において今度の目標がそれであれば、誤投入はもう拾わないよと、連絡しても。原則ですけどね、今。携帯電話なんか入れたところで、非常に難しいと思います。やはり私は作業をされる方が現場を見て、こんな現場に入るのはやめたほうがいいと思います。

利用者の会でもこういう形で、林さんが入られた宇宙服なんか着て、それもみんな見ていただいている。だから、こういう作業はやめていきましょうねという話は利用者の会でもしていますので、非常に大事な一歩だと思います。それが3月末で終わり、4月からは原則としては拾わない。前のあれの会議の投入口でも全部書いてある。あ

れはわかりにくいから、明確にもっと拾わないという方針を出していくことも、そろそろタイムスケジュールから見ると、あと4カ月しかありませんので必要なと。

個人的には、利用者の会は反対するところはないのじゃないかなと。要するに作業員の方を考えたら、済みません、うっかりでこんな一緒に入れました。そんなのは、そこまで相手にできないと思いますけど。市役所さんの立場も苦しいと思いますけど、一応腹をくくって、次のステップに行きたいなど。

それから後で、きょうの議題で出る鍵の問題であるとか、一つ一つ、要するにマナー違反でどうするかと、パッカー車の回収の問題。これも今期中、3月末までにはある程度検討して、お互い。私どもは、この前こちら来られている鈴木さんが言われた、非常に私は感銘を受けたのですが、住民起因でとめる。これも、私ども利用者の会は市と協力していくスタンスが必要だと言われたので、これは非常に感銘を受けました。

ですから、市にだけおんぶにだっこじゃなくて、私ども住民も協力していくスタンスはあると思いますので、その辺を御検討していただいて、翌年度には新しいステップが切れるようなことを、ぜひ御検討をお願いしたいと。お答えは要りませんが、以上です。

○市 今の誤投入の件は、ワーキング・グループでも話ししている内容にはなっているのですが、ワーキング・グループの中でも、やっぱりやめる方向で動こうかという話になって、やめるためのステップを考えようかという段階ではあるんです。いつやめようかという、まずそこを決めないと、そこに向けての動き出しができないと思います。今の提案では、4月なんかはどうだろうという提案でしたけど。

もう少し考えていると、すぐに4月が来ちゃうのですが、いかがでしょうか。今すぐに決めるのは難しいと思いますけど、4月、ちょっと早いなどか意見ありますか。

○利用者の会 利用者の会の三浦です。

一番肝心なのは広報というか、住民に周知させるのが一番大切な。今回の誤投入の問題でも、やはり管理組合の理事の間では共有できても、なかなか全員にそういうことを共有できてない現状がありますので、どことも同じような状況やと思うのです。私も当然誤投入に、パーカー車の場合は対応できないのが明らかなので、この地域だけ特別に実施している形では、問題もあるかと思うのです。ですから、そういう対応しないのは当然やと思うのです。

苦情が出たとき、必ず市に行きます、センターに。我々には、そういう苦情は余り来

ないという話になりますので、やはり一緒になって、周知させるのをどういうふうにするかを、一番先に検討したほうがいいかなと思います。そういうふうにすると、それで諦めるという現状に持っていかなと、なかなか難しいと思うのです。

○市 そのほか、何かありますか。

○利用者の会 春木です。

計画するためには、やっぱり現状把握というか、その辺がきっちりできていますかとなると思うのです。これまで、さっきは一緒にごみを持っていくなど言いましたけど。今度、誤投入したら回収しませんと言うのであれば、これまでの誤投入はどういう状況やったか。今回、初めて住民のあれを調べたということやけど、それまでの誤投入に対して、どういう傾向にあったか、その辺の資料があれば一番いい。

例えば、どこの地区で一番起こったのかと。変な話やけど、お年寄りの多いところが多いとか。何らかの傾向があるのであれば、それに対して誤投入しても、回収しません言うのやったら、それに対してどういう対応をするかとか。

今回の場合には、一緒に貴重品を持って行って、誤投入がこれだけたくさんありました。うちも買い物袋、あるいは子供さんが恐らく間違っって行ったのやと思うけど、そういうケースもあるわけ。せやから、その場合には、ごみ出しを子供に言うのであれば、そのあたりにそんなものを置かんと、ちゃんとこれとこれを子供に指示をして、あるいはお年寄りが間違っって持っていったんやったら、これとこれというのをちゃんと置き場所も決めて、これが向こうへ投入やとか、そういうことを現状把握、対策立案、対策の実施効果の確認とか、企業の中でもやっているけど、そういうことを、いつになったらできますかと、一方ではあると思うのです。

ただ単に4月からやりますと言うだけではなしに、過去には、こんな状況の場合に発生していますよ、だからこういうことをちゃんと注意して守ってください。でないと、4月以降したときに、また同じことが起こって、皆さん困りますよとか、何らかのそういうことを、資料があつて初めて、そうであればいつからしますかとなると思うのです。今、何もありません。その中で、感覚的に年度初めの4月からやりますって、それでええんかなと、ちょっと私としたり疑問なんやけど。

そういうものも含めて、既に準備できていますよと言うのであれば、私も別に年度初めの4月がええ機会、それは4月からですねと言えるのやけど。これまで単発的にこういう資料がいっぱいあつて、件数は調べたにしても、その裏に潜んでいるもの

が一個もわからんから。

それと1つ気になっているのが、本来であればこういう対象を議論するときには、本当やったら高砂丸誠さんのリーダーなりが出てきて、その辺の状況とか、こんなんやとか聞きたいなという気持ちもあるのです。それすらおらんのです。その人らも日ごろ思っている、設備のほうで思っている気持ちですね、ひょっとしたらこれ違うか。

ということで、私は、何らかの裏に隠れとるその辺が何もわからん状態で、4月に、「はい、やめます」でええんかなと、その辺が疑問な点があるんです。

やめるからには、皆さん過去こんなんやったから、こういう状況をつくらんように、ちゃんと周知徹底せんと大変なことになると、その辺が何かあるべき違うかなと思います、皆さんに言うにしても。時間かかるからあれかなと思うけど、と思います。

○利用者の会 大田です。

誤投入に関して、何月何日をもって一切やめるよという話も出ておるし、原因等をきちっと把握した上で、どうするかということになると思うのです。

林さんが先ほど携帯電話の件で、鳴らしてみたら、底のほうで音がしとった。そういう状態のときに、全くだめですよと、一旦決めたからだめですよというしゃくし定規なこと通していいものかどうかという問題とかあるので。

車の駐車違反と一緒に、ちょっと席外してすぐ戻ってきたら、警官が用紙を書いたときで、幾ら釈明しても受け付けてくれないことで、非常に警察に対する反感を思う人も多々いると思うし、そういう点で。底で携帯電話が鳴るとるにかかわらず、市が全然対応しよらんということになれば、かなり問題も、文句も言われる可能性もあるので。その辺をどうするのかということもあるし、どうなのでしょう。私の口からはっきりは言えないような状況です。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

私の考え方は、利用者の会で、一応これはやめましょうという方向を決めたのです。ぶり返したらいかんと思うのです。市に対して前回、こう考えますけどどうでしょうか、市のほうで検討して、市は検討しますという判断です。また最初に戻して、じゃあどうしようかという話ではないです。そこをまずきちっと伝えたいと。

こういうふうな誤投入したときに、上の方とかほかの地域は、ごみをしたときに全部、電話があったからって、全部ごみを開けますか。開けないですよ。芦屋市のパイプラインだけです。しかもパイプラインは開けないって書いてるんですよ、シール張って

るんです、各投入口に何十年前から、それでもやってるんです。そうするとどういうことになるかという、こういうふうに、いつまでたっても電話をかけてしまうのです。

だから、啓蒙活動をするときにそこはきちっとしとかなないと、ずっとこれは続きます。そうやるとクレームがつかます、当然できなかつたら。ですからここは腹を決めて、ちゃんとそういう方針を以前に決めて、シールも張っている。ほかの地域は全くやっていませんから、それと同等のサービスを芦屋市はしますと、きちっと僕は言ったほうが良いと思います。それが、最終的には啓蒙活動の一環なのです。そうしないと、いつまでたってもこの状態が続きます。

何でこういうことを言うかという、今後パイプラインはいろんな負担がかかるでしょう。あと20年、32年もたそうというときに、パワーを誤投入とかに注ぐのではなくて、もっと本質的なものにする必要があるということで、できるだけ高砂丸誠の方には負担をかけなくて、本来すべき仕事をしてほしいということで、こういうことも考えましょうということで、一生懸命、利用者の会が考えて、結論出して、市に対してこうしましょうと振ったわけです。

それが、またどうしましょうかと言われると、僕は非常に憤慨していて、それは市できちっと結論を出すなり、ワーキング・グループを使って結論をそろそろ出して。じゃあ、何月何日からやるためにどういう問題が、具体例が発生するので、それに対しては広報をこうしましょうとか、ランディングするために、このスケジュールでいきたいと思いますと考える時期やと思うのです。この協議会でどうしますじゃなくて、そういう具体的な話をワーキング・グループ内でする段階だと私は思っています。

○利用者の会 私の先ほどの発言が誤解を受けとるようですけど、別に誤投入に関して、一切対応しないということなら、それでいいですけども、実際見て、携帯が下で鳴ってるよという状況でも対応しないと、一切対応しないというスタンスで市側として対応できるなら、それでも結構ということですよ。

○利用者の会 今、いろいろ話が出ていますが、4月からやるということで、別に利用者の会と行政の姿勢として投げかけて、そういうことで、それはそれで別に異論はないです。

ただ、これまでの状況を、皆さんに私としたら伝えたいと思うのです。その上で、4月からやりますということで。その辺も含めて、また今後ワーキングありますし、

これまでのデータも全部ありますわ、保存して。それら含めて、どうするかを、またしたらどうかなという気もします。別に4月から決めたことではあるので、それからスタートでも別にそれはいいけど。その辺の最小限のことはした上でというのが主ですね。

住民の皆さんは知らんと思うのです、これまでのはっきり言うて。熱心にやられている方はみんな御存じやと思いますけど。さっきも出ましたように、どう伝えるのかという話も出ていますし。その辺も含めて、今後、4月まで4カ月、余り日にちないので、その辺含めてよろしくお願ひしたいなと思います。

現場の高砂丸誠の人らも、恐らく何らかの意見を持たれているかもわかりませんから、また何かのときに、その辺の意見を聞いてもらったらと思います。エンジニアの人もそのほうが喜ぶと思うのです、日ごろの鬱憤をぱっと言うてもうたら。よろしくお願ひします。

○市 次回のワーキング・グループまでに、資料を整理して最終詰めたいと思います。

済みません、時間がかかり押してます。1番で1時間ほど使ってしまいました。急いでいきたいと思います。

2番の「パイプライン施設の輸送管交換工事について」、資料2、林から説明させていただきます。

○市 芦屋市の林です。

議題2「パイプライン施設の輸送管交換工事について」、資料2をもとに御説明させていただきます。

最初、パイプライン施設の輸送管交換工事について、その下に工事のお知らせとして、今回工事に関しましては、前回、協議会で御説明させてもらった内容の項目は変わらないですけれども、工事箇所は浜風小学校東側の緑道で、施工箇所に関しましては環境処理センターの北の向こう側の2カ所でやります。

施工箇所1に関しましては、10月末で輸送管の交換工事が完了しております。現在に関しましては、施工箇所2の工事中になります。今回の施工箇所2に関しましては、当初予定であれば輸送管の交換工事に伴いまして、先週の11月26日火曜日から29日金曜日で、こちらの青い地域の投入口をとめさせていただきます、輸送管の取りかえ工事をやる予定にしておりましたが、埋設物の影響等がありまして、今回のその予定を1週間ずらさせてもらいまして、12月3日火曜日から12月6日金曜日まで、この4

日間で投入口を停止させていただきまして、輸送管の交換工事を予定させていただいております。

今後につきましては、きょうこの場で初めてお伝えさせていただきましたので、今後はメール等で利用者の会へお知らせ、またはホームページ、停止投入口への掲示をもって皆さんにお知らせする予定にしております。

2 ページ、工事の進捗状況につきまして御説明させていただきます。施工箇所1の輸送管の交換工事の作業状況です。黒い輸送管、これは今の防食被膜の色ですけど、こちら新しい輸送管、青い防食被膜は古い輸送管になります。

工事内容としましては、約31メートルの真っすぐな輸送管の交換を行っております。大体6メートルごとに分割して、順番に切って、つけて、切って、つけてを繰り返して輸送管の工事を行いました。

実際、今回穴あきがあったのは、直管の輸送管の下部、下の部分に亀裂があったことが、今回の輸送管工事を行った要因になります。これは去年の10月ごろに、協議会で御説明させてもらった穴あきの状況になります。実際輸送管の外から見ると、このように亀裂ができていまして、この亀裂はほとんど輸送管の鋼管の分がないことになります。こういったところから空気を吸っていた可能性があります。

実際工事では、大体1日6メートルの輸送管1本ずつ交換していったのですが、こちらの交換工事に関しましては、朝9時から夕方の定時までの間で1本交換して、また土に埋めて1本交換して、土に埋めることを繰り返しております。

今回、輸送管の交換工事で初めて起きた状況ですけれども、古い管を土から出して、そこで吸引運転をかけた際に、一番わかりやすいのは一番左下の写真です。こういった形で風圧に耐えきれず、楕円形みたいな形で輸送管がひしゃげてしまいました。これは工程を変更して、すぐにその輸送管を新しい輸送管に交換しております。

次のページ、今行っております施工箇所2の工事箇所になります。こちらは曲管が多数含まれている輸送管の交換工事になります。ここに関しましては、ほかの埋設物が多くて、前に示しているとおおりガス管の下を通過して、マンホールを横を通過して、汚水管の横を通過して入っている輸送管になります。

先ほど工事に伴って、停止期間が延期になったということですが、それが、こちらの右下の雨水配管、雨とか降ったときに通る配管ですが、こちらの配管が、防護コンクリートが出てきまして、これが思った以上にうちのパイプライン輸送管と近かった。

次のページ、黒いのがパイプラインの輸送管です。大体幅としては20センチないぐらいのところコンクリートが、丸のところを拡大したら右手の写真になります。20センチないところにコンクリートが埋まっていて、これ以上掘れないというか、機械で掘れない。また、ここは溶接しようとしたところなので、人が入ることができなかったので、段取り等変更して、最後下に書かせていただいています、12月3日から6日の4日間で停止をして、交換工事を行う予定にしております。

簡単ですが、今、現状パイプライン輸送管工事について説明させていただきました。

○市 今の工事のことについて何か。

○利用者の会 利用者の会の大田です。

下の変形した古い輸送管という写真が出ています。吸引運転はどういったことですか。吸引運転を実施したところ、古い輸送管が6メートルにわたり変形しましたということが、引っ張る。

○市 ごみの収集をしたら、運転をしたら風圧で。

○利用者の会 このような状況であることが、ここだけに限らない可能性が多々あることが考えられますか。

○市 周りの土がなくなって、今までは土圧でもっていた円の原型が、周りの土がなくなったことによって、輸送管の横へ力が加わって、ああいう形になったと思います。

○利用者の会 ほかに起こる可能性は考えられるのですか、よくわからないけどね。

○利用者の会 露出したからへこんだ。

○利用者の会 周りの土がなくなったから。

○利用者の会 全部掘り込んだから、今回は。ほかは管とか全部埋設されているから。

○利用者の会 はっきり言って起こり得ます。可能性ははるかに低いけれども、起こる可能性はあります。

○利用者の会 起こる可能性はあると思う。

○利用者の会 というのは、今後は一応20年間もたすとなっているけれども、直接、輸送管の上に車とか重たいものが通ったりということも、多々あるのではないかと思うんだけど。陥没ということも考えているのかどうか。そういう心配はどうでしょうか。

○市 藪田です。

今回のことについては、土の中にある状態であれば、周り土があって、空気を吸うといっても土があるので、そんなにめっちゃめっちゃ吸わないと思うのです。今回露出し

て運転したがために、多少のすき間、下の底にあるすき間から空気をたくさん吸い込むようになったのと、あとは横に土がなくなったので、管が横方向へ逃げやすくなったので、へしゃげたということになるのでしょうか。

先ほどもありましたけれども、土の中であっても可能性はないとは言い切れないと思います。ですので、しっかりよう見とかんと、道路陥没につながっていくことは十分あると思うので。やっぱり穴があいてきている個所は、定期的にはしっかりチェックして直していかないと、道路の下を走っていますので、大事故につながる可能性はあると思います。

○傍聴者 場外から済みません。今回の現象ですけど、結局穴あきとか、減肉して薄くなって、強度が弱くなってくるところがあると、風圧がかかると、どうしてもこうやって変形するのです。土があると安心しとっても、やっぱり雨水が進入したりとかして、土が動いている可能性もあります。だから、可能性としては十分起こり得るのですけれども、予防策としたら、穴あきをしっかり見つけて早く直すと、それが最前の予防策になります。ですから、そここのところを今まで以上に気をつけて修理していただければ、こういったものは心配する必要はないかと思います。

○市 よろしいですかね。

○利用者の会 春木です。

以前、新浜町の、後でまた出てきますけど、47日間とまった原因の1つとして、劣化による風量の低下、穴あきを書かれていたと思う。そのときにふっと思ったけど、風量、風速なんか測定されたことはあります。

○市 全体ではないです。

○利用者の会 その辺どうなのかなという気がしまして。ある特定の場所、それぞれ考えがあると思うが、場所を決めるにもいろいろ考えがあります。だぶっているところでやるのか、それともいっぱい通る機会が多いところをメインに考えるのか、いろいろあるけど。

例えばその辺をいろいろ決めて、定期的に2年か3年、5年に1回、風量、風速をチェックすると。吸気口からやるか、送風機の出口でやるかとか、同時にやるか、どれだけ減ってきているかとか。もちろん圧力も見といて、その辺も今後必要かなという気もする。それやったら早期発見とかね、ひよっとしたらこのライン、何かへこんどるなとか、穴あきが多なるとるなとか、何かその辺、わかる手だてがあるのと違う

かな。

風速計なんか持っているの、アネモマスターやったか何か。私らも工場にあったんやけど。その辺も、浅田さん、どうですか、そこら辺。

○傍聴者 穴あきを調べようと思ったら入り口側ですよ。特定の経路の中から引くようにして、ほかのほうを遮断した中で引っ張ったときの送風機の手前の圧力と、それから電流、これがわかれば、この系統はリークが多いというのはわかりますね。

○利用者の会 そうですね。

○傍聴者 いつもリークテストやるときもそう、逆の話で。普通だったらプラス圧をかけて、どれだけ抜けるかとやるのだけど、逆に減圧させて、どれぐらい減圧して、どれぐらい風量が出るか、それによって損傷が激しいラインはわかります。ですから、それをやっていって、状況の悪いラインは徹底的に調べると。

例えば本体のパッキンも変えないといけないかもしれないし、本体のごみなどを入れる下のケーシング、これも穴あきがあるような話を聞いていますので、そこはちゃんとされるとか、そういったことを運転の途中で締め切った状態での吸引をして、データをとっていけば、劣化の激しいことがわかる。

あとは人間の目になりますので、一番悪いところをまず決め打ちした上で、点検をしっかりとすることになるかなと思います。

○利用者の会 その辺もまた考えてください。新浜町で発生回数が多くて、その辺も疑問やという住民の意見も出ていますので、その辺をまた、今後考えてください。

○市 よろしいですかね。

続きまして、議題3、輸送管の閉管時の情報展開フロー（案）と啓蒙活動（案）で、資料3、利用者の会、山口さんからお願いします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。資料3をごらんください。

これはこの間、利用者の会で説明したのです。何故つくったかという、今、管が閉管したときに、どんな情報がどう伝達をされているかを一度確認しましょうということで、それを踏まえて啓蒙活動をどうしたらいいのか。

基本的に管が閉じたとき、例えば今回の場合は利用者が原因で恐らく、ほかの要因もあったと思いますけど、利用者が原因で閉管したであろうということなので、それはチャンスと捉えて、それを捕まえて啓蒙するのが、一番効果があるだろう。おくれて啓蒙しても、なかなかピンと来ないので。今回は具体的に本の名前まできちっと出し

ていますので、それを見せることによって、1人でも気がついてもらえばいいなという事でポスターをつくったのです。

まず、情報フローで、輸送管が詰まったら林さんからメールが来て、友田さんに行く。友田さんから利用者の会のメンバーに伝達が行く。途中経過に関しては、林さんが毎日、夕方ホームページをその都度更新していますので、それで見れる。私はそれをまた見て、次の日の朝に私たちのホームページで知らせる、こういう形でぐるぐる回している状況。

これが解消されたら、また林さんから連絡が入って、それを利用者の会でメールを通して皆さんに連絡する。同時に投入口に告知のポスターを張って、中のものがもし取り出せて、衛生上、問題がなければ市で投入口の横に置いて、それを掲示していただくとなっています。

と同時に、私たちもそれに乗って、これをチャンスとして考えて啓蒙活動をすべきだということで、皆さん方にアンケートをとって、誰に伝えたらいいのかということで、全ての自治会、管理組合、その発生した場所だけではなくて、ある地域はこういう状態で、今、起きていますよと知らせる必要があるのじゃないか。

と同時に、投入口でトラブった住民の方にも一人一人ポスターを配って伝えよ。これは意識して、悪気があって捨てたのじゃないという判断です。何も知らずに、以前は何か捨てたけれども、うまくいったのだということで捨てられたと思いますけど、やっぱり知らせる必要がある、知っていただくという観点で、何かつくる。ポスターをつくって掲示板とか投入口とか、私たちの管理組合のエレベーターは非常に効果があります。それから全ての投入口、そういうものにそういうポスターを張る必要がある。

伝え方としてはニュースにするか、ホームページに記載する。そして、何を伝えるかということで、まずは皆さん方からリクエストがあったのは、口で言うよりは写真やと。口で何ぼ説明しても、写真でぱっとわかるということで写真が大切ですよ。

それから幾ら金がかかったのか、今回300万ですけど、わからない。捨てた人も本人はわかってないです。次の人が捨てられなかった。本人は捨てられたのです。ですから、その辺でお金か幾らかかったのか、投入口はこの番号です。

それから誰が伝えるのか、それは管理組合、自治会及び市と利用者の会が協力して伝えましょう。いつ伝えるのか、それは発生時点でわかれば発生時点であり、復旧した時点で。こういうことをするための今回の事例としては、これは裏がありますポスタ

一をつくって、これを各自治会、管理組合及び発生したところには、各住民さんに全て配るということで、こんなものを捨てたら詰まりますよと。ちょうどそういうタイミングでこれをすることによって。できたら年末より前がいいと私は思っています。年末にかかると、またこういうものを捨てる人がいますので、その前にこれを配って、知っていただくという活動をしたらどうかということで、今回、議題として上げさせてもらいました。

これで、また不足する点、こういう点を変更したらと言ってきたら、その都度協議会で考えていただいて、ここはこうしよう、こうしようと、順次いいものをつくっていききたいなと思っています。

このポスターはアンケートの結果を全部入れていますので、私個人的にはちょっと文言が多いなという気もするのですが、最初としてはこういう形でとりあえずやってみて、反応を見ていこうかなと思っています。

何か皆さん方から御意見があれば。

よろしいですか。このポスターの費用は、利用者の会の会費で賄おうと思います。前回12ページのもの、あれは十何万かかる。今回は1ページだけなので、そんなに金がかからないと思いますので、大丈夫かなと思っています。よろしいですか。できたら12月にはこれを配る予定にしています。

ありがとうございます。

○市 では、引き続き、4番は輸送管の閉管時の代替車の収集回数について、資料4、山口さんからお願いします。

○利用者の会 資料4に関しては、閉管したときに今パッカー車がかわりに代替としてごみを収集していますけど、月、火、水、木、金、土と、週6日来ているのです。今回閉管したときに、実際にごみを見た方の話を聞いたり、いろんなことをしたのですが、そんなにごみの量がないよと。だから、ひよつとしたら回数を減らしてもいいのじゃないかなという意見が出た。

もう1つはアンケートとったときに、これはちょっと複雑ですけど、利用者の会で、もしある人が捨てた原因がはっきりして、それがわかれば、やはり毎日取りに来るのは全然効果がないのじゃないかなと。その人が捨てたことによって詰まった。そしたら、やっぱり毎日来るのじゃなくて、ペナルティとまでは言いませんけれども、回数を減らしたほうが、効果があるんじゃないか。毎日来たら、別に詰まっても全然本人

さんは弊害がないわけです。だから、それを知らせるためにも、したらいいのじゃないかという意見があったんです。

毎日来たらお金もかかるということです、当然。今回詰まって約100万かかっています、パッカー車代で。それも減らしたらどうかということで、1案、2案、3案で、1案は協議会の、特にワーキング・グループで協議をしましょう。2番目は、上にあわせて、基本的には高層は3回やけれども、通常の戸建て、中層は、タウンハウスは週2回する。ただ、これもいろいろありますよ、検討ね。第3番目は現状を維持するという3つで、皆さんどうですかという意見を利用者の会で募りました。利用者の会で出た案が下です。

まず、ペナルティの周知をさせるべきだと、もし利用者の会の利用者が原因だとわかったら。

回数を減らすことは賛成だが、回収ルート及びごみ量をきちっとデータをとって、そこで検討してから決めましょう。

3番目、回数を決めるタイミングは難しい。日数や告知をいつするか。それから、ごみ詰まりを回復させる期間の予想が難しい。

個人の責任を団体、管理組合、自治会が負うのは問題である。週2回は生ごみがあるので衛生上問題がある。原因がわからない状態で極端に回数を変えるのは問題がある。

次に出たのは、非パイプラインの方は週2回ですけど、当然生ごみが発生しております。週2回でどんな工夫をされているのか。もし回数を減らすのだったら、こういうデータをきちっとそろえて、回数が減りますけれども、こういう工夫をしてくださいと知らせる必要があるんじゃないか。そのノウハウを知りたい。

週2回（3日分）の非パイプライン地域のごみの量、これまでどんなごみの量に応じて、私が聞いているのは3,000カ所あると聞いております。そのごみの量はどうかを知る必要がある。そして、パイプラインを予定どおりの期間を維持するために、知恵を出して1案と2案。ですから1案と2案を考慮しながら、もう少しもんでいく、きちっともんでいく、データもそろえて。そしてそこで案を出していく。

最後はペナルティという考え方ではなくて、利用者起因だけでなく、輸送管が閉管したら利用者が市に協力する形でその回数を減らす。これは最初のアイデアは、あくまでも利用者が原因で減らしていこうと考えたのですが、わからないのですよ、利用

者が原因かどうか。そうだったら閉管して、台風が来て水が詰まっても、基本的には減らそうという考え方で市と一緒に協力して、費用削減なり、こういうことをしていったらどうかというアイデアが出まして。

結論的に言いますと、1案と2案を考慮して、回数を減らすことには賛成だと。だけど、具体的にはもう少しいろんな状況を知って、1案と2案を利用者の会のワーキング・グループでもんで、結論を出していったらどうかということを協議会に提案したい。ですから、ワーキングで時間をかけてきちっとやっつけていこうと。

これは20年、30年の話がありますので、今、急に結論を出すことはないかと思えますけれども、こういうことも考えて、何とか20年、30年もたせていこうという考え方です。

以上です。何かございましたら。

○市 芦屋市の森田です。

先ほどの議題のこの誤投入の取り扱いの問題もそうですけれども、利用者の会の皆さんから御提案をいただいておりますので、ボールはこちらにあると思っております。今後、ワーキングなりで検討するにいたしましても、一定市の考え方を整理して、お示しをした上で、ワーキングで検討させていただきたいと考えております。

○市 引き続きまして、議題5、投入口の鍵問題について、資料5、山口さんからお願いいたします。

○利用者の会 資料5は、先ほど春木さんからも御意見が出たのですが、投入口の鍵問題について、そろそろ手を打っていかうじゃないかということで、利用者の会で話して、意見が出たのが下の幾つかです。

鍵が動かしにくい状態になるのを防止するために、鍵穴に入れる潤滑剤を使う方法があるが、確かに私のところもかちかちとなったのです、閉めるときに。ええと思って、何かいつの間にかすつと行くようになったのです、ある日突然。1カ月ぐらいしたらまたもとに戻ったので、それが入ったり来たりしているのです。きょうの朝確認したらすつと行きました。

こういうことで、潤滑油を入れても1カ月しかもたないですけれども、巡回している方が、その中の1つの作業として、何か項目を入れてメンテをしていただくと、そういうトラブルが少なくなるのではないかという御提案がありました。

それから、鍵の突起がないものがあるわけですが。突起がないものは、大永さんとは

大永さんが持っているらしいですけれども、そういうものを管理組合、自治会で持つておく。そうすると、わざわざ市民が電話をかけなくてもいいじゃないか。ただ、なかなか難しいなど。大永さんみたいにきちっとされている方はいいのですけれども、私が理事長で、その都度電話があつて、たまらんという気もしますので、ちょっとこれは、そういうアイデアがあるということです。

鍵専門のオイルを塗るか、鍵のメンタ側の問題もあるのじゃないかと。メンタ側の問題がある箇所は当然わかっていますから、それを、1年間データがとれるはずで、どこがよくこれが起こるかを見て、そこはメンタ側の鍵を交換したらどうかというアイデアが出ました。履歴を調べて交換する。

これは林さんから以前、さっきも黄色いテープで、こっち側の矢印はあるのですが、こっち側がないです。それをきちんと張ったらどうか。

もう1つは、鍵専門の方に見てもらう手もあるのじゃないか、こういう意見が幾つか出まして、私的に整理すると啓蒙活動をどうするか、ポスターとか。

2番目は鍵問題、鍵そのものの突起の話はどうするか。受けるほう、鍵を入れるほうをどうするか、この3つぐらいに絞られて、それぞれ対策を利用者の会で考えて、まとめて、ずっと起こっていますので、そろそろ手を打つことをされたらどうかと思っております。具体的にワーキング・グループでこれを詰めていく作業をしたいなど思って、提案をさせていただきました。

○市 鍵の問題で、先ほどの議題の1でも出ましたけれども、我々も対応を考えたいと思いますけど。差し込む本体側、交換履歴を表にしてまとめてないので、今すぐに、大体何年に一度交換していることは出ないですけど。

○利用者の会 通報があつた履歴を調べれば。

○市 本体側の鍵の耐用年数、大体何年ぐらいで交換しているのかというのを、まずちょっと知りたいなど。

○利用者の会 実際交換されているのですか。

○市 交換していますよ。

○利用者の会 していますよ。

○市 ちょこちょこやっているのですが、それが大体何年ぐらいでだめになっているか。

○利用者の会 コインマスター。

○市 そうです。

交換履歴を大分拾わんといかんのですけど、ちょっと調べたいなと思っています。それが出れば、大体何年ぐらいで交換していけばというのであれば、壊れる前に交換も、手を打てるかもしれないということもあります。それも含めて、またこれからやっていきたいと思います。

○利用者の会 何やったら、以前浅田さんが投入口別のごみの推定量を、投入口当たりざっと出されたのがあります。あの辺から、住民の数やら、回数とかね。

○市 使用回数。

○利用者の会 そうです。その辺を参考として、中の表にここからこうと書いて、その辺も参考にして予防保全というか、対応これぐらいという感じで。

○市 ちょっとやっていきたいと思います。

ほか、この議題5に関してはよろしいですか。

次は議題6になります。その他、私、藪田から説明させていただきたいことがあります。パイプラインとは直接は関係ないですけども。ごみの関係でいいますと、ごみの焼却炉の運転停止が起きました。そのことについて、少し御説明をさせていただきます。

資料6に沿って説明させていただきたいと思います。ごみ焼却炉の運転停止で、皆様には大変御迷惑をおかけしたということがございました。

経緯は1番にも書いていますが、この内容につきましては、9月26日、利用者の会へ寄せていただきまして、もう少し詳しい資料を出させてもらって、経緯については説明させていただきました。その中でも、改善対策を御説明させていただいたのですが、この場では初めてということもありますので、簡単に説明させていただきたいと思います。

経緯としましては、ことしの7月30日に、焼却炉の煙突から出ている排ガスの水銀濃度が、大気汚染防止法の規定値は $50 \mu\text{g}/\text{Nm}^3$ となっていますけど、それに対して200出たということがございます。そのことで、再測定とか各部署と協議を重ねまして、8月27日に焼却炉をとめました。そこから原因調査でありますとか、改善対策の検討、また焼却炉内の煙道とかの清掃、そして改善するための設備の改造などを進めまして、9月13日から水銀の測定をしながら、2号炉の焼却炉を運転再開したということがございます。

1号炉についても、同じような清掃や改造をすることで、こちらは時間がかかりまし

たけれども、10月28日の月曜日には運転開始ができて、ここから2炉同時運転して、たくさんたまったごみを減らすことを、今やり続けております。

この間、皆様に焼却炉がとまったことと、焼却する量が減ってしまったこともあって、ごみの排出、ごみ出しをできるだけ控えていただくというお願いをさせていただいて、協力していただけたことで、何とか乗り切ることができたと思っております。

改善対策ですが、何をしたかといいますと、分別の徹底を皆様にお願ひしたことと、2つ目は施設の改善を行ったということです。

1つ目の分別の徹底ですが、各戸配布、各お宅に今回で3回ほど配布させていただきました。事業者にも、全事業者に配布させていただきました。ホームページも随時更新しまして、これを機にツイッターも始めまして、そこでも啓発をさせていただいております。

今年度末に発行予定のハンドブック、こちらにも水銀のことを記載して、全市民の方に啓発をさせていただこうと考えてございます。

収集方法の変更ですが、今まで水銀の、例えば血圧計でありますとか、水銀の温度計、体温計、こちらは収集のときに出しますと、やはりほかのごみとまざって割れてしまう恐れもあったので、環境処理センターまで持ってきてくださいというお願いをしていたのですが、やはりこれがちょっと手間ということもあって、お電話いただいたら、おうちまで取りに伺いますよと切りかえて、今、その方法で収集しております。いつまで続けるのかというのがあるのですが、当面、今続けていっております。

それと各機関への協力依頼で、各自治会さんとか医療機関、商工会とか、ごみを集めています許可業者に説明したりしております。自治会さんにも協力していただいて、回覧を回していただいたりしているところなんです。

展開検査で、環境処理センターに持ち込まれるごみ、これらのパッカー車を土間にあけて、袋破いて中味を見ていく検査をしております。今までも、頻度は少なかったのですが、やっていました。これが起きてから、いつときはほぼ毎日、1日のかなり台数をあけまして、展開検査を行いました。現状でも週1回は抜き打ちでパッカー車をあけさせて検査をしている状況です。

展開検査はかなり何百台とやってきているのですが、水銀の血圧計とか温度計は見つかっておらず、出てきたものといえばボタン電池が十数個だったかな、見つかっているぐらいで、今の段階ではそんなに大きな水銀含有製品がまざっていることは見受

けられておりません。

次は施設の改善です。排ガスの低温下と活性炭の吹き込みを行いまして、確認するために連続水銀測定器を設置することを考えております。現在、排ガスの温度を下げることをしております。何で下げるかといいますと、排ガスの温度を下げますと水銀を除去しやすくなる。温度が高くと、水銀が気体のままで除去しきれずに、バグフィルター通って煙突から出てしまっていることもございますので、除去しやすい温度に下げのために低温下しております。

具体的にはバグフィルターの手前、当方の施設につきましては、設計値で230度という温度でつくられたもので、それで運用していました。

前のパネルで説明しますと、ごみの流れは、パッカー車で燃やすごみがここに入ってきて、ごみピットで、クレーンでつかんでホッパーに入れます。そして焼却炉では乾燥火格子、燃焼火格子、後燃焼火格子で3段になっておりまして、今までは、おおむね1,000度ぐらいの温度でごみを燃やしておりました。燃やした灰は灰を押し出す装置、水の中へ入れて、少し冷やして、水分、ほこりが立たないようにして、分散機で灰ピットへ流れまして、その後、トラックに積んで尼崎に運んでいって、そこから船に乗せかえて、神戸沖に埋め立てている流れになります。

問題になっていますのは、燃やしたときの排ガスです。ガス冷却室でまず水を吹き込んで、450度ぐらいまで温度を下げています。そして、ここに再加熱空気予熱器と燃焼空気予熱器がありまして、いわゆる熱交換器ですけど、こちらで熱交換させて、排ガスを、さらに温度を下げています。

最終、排ガス減温塔、ここでまた水を吹き込んで温度を下げて脱塩反応塔へ行くのですが、この温度が、以前は230度ぐらいで運転しておりました。脱塩反応塔で消石灰吹いて、塩化水素を除去することをしております。

この後、ろ過式集じん機で、吹き込んだ消石灰とか燃やしたときの細かい灰、飛灰を集じん機で除去して、最終的に排ガスは触媒脱硝装置、アンモニア入れて窒素酸化物とかを除去して、最後は煙突から出ていく流れになっています。除去した飛灰については集めまして、重金属安定剤、薬品を加えて、焼却灰とは別にトラックに積んで、これもまた同じですけど、尼崎に運んでいっております。

今回、排ガスの低温下をしたところが、この部分になります。今回、水銀を除去するのが、この脱塩反応塔とろ過式集じん機で水銀を除去しようということで、この

排ガスの温度を下げることをしました。今までは230度で運転していたのですが、いろいろ無理して200度にまで何とか下げて運転をしております。なかなか200度にも下げるのも難しい状態で、実際は206度とか、その辺になったりしているのですが、目指すは200度で運転しております。ここでは温度を下げて、消石灰と同じ、すぐ横のラインで活性炭を吹き込みまして、ここで水銀を活性炭に吸着させて、集じん機で取っております。

除去された水銀、活性炭とか飛灰にひっついていのですけれども、そちらはダスト安定化装置で重金属安定剤を加えて処理して、溶出しないようにして、埋め立てへ行っております。今回対策として活性炭を新たに入れたのと、こちらの重金属安定剤の薬も変更しております。そちらで水銀は今除去しております、連続水銀測定器ですが、最終、大気に出るこのラインで測定器を設置しようと考えております。まだ、連続式の水銀測定器まで設置ができておりません。

なかなか期間と費用がかかってしまうことで、今、9月13日以降運転している中では、この煙突、2号が入る上のところ、大気出る手前のところ、螺旋階段がこの煙突の中にあリまして、地上12メートルぐらいに測定口があります。そこに携帯型の水銀測定器を設置しまして、1時間に一度人が中央制御室から上がって行って、ボタンを押して水銀を測定して記録していて、毎時人が行って確認しながら運転しております。

現状、水銀につきましては、ここで確認している値につきましては、ゼロマイクログラムという数字で運転しております。

○利用者の会 押込送風機と誘引送風機、それが一番消費電力が多い。

○市 そうですね。消費電力が多いのは、誘引が450キロワット。

○利用者の会 押し込みのほうは。

○市 そこまで大きくないですね。

○利用者の会 1系列で、500キロワットぐらい。

○市 誘引は450ですけど、細かい機械がたくさんあるのでもう少し。

○利用者の会 1系列全部入れたら1,000キロか、1,000キロ近い。

○市 実際そこまで上がってないですね。

○傍聴者 800キロワットが定格で、実際使っているのは五、六百キロワット。

○利用者の会 五、六百キロワットぐらい。

○利用者の会 契約電力、今、2,000キロワットですね。パイプラインが1,000キロワット。

それ以外で1,000キロワットです。せやから、2系列運転したら契約電力が超過しよる。

○市 そうですね。そこの話に行くまで、2炉運転の話。実はここの焼却炉をいつとき止めてたことがあって、ごみピットのごみが、実は投入扉の上まで来ていました。この扉が4つありますけど、3つの扉の上まで来てて、残り1つの扉だけで、ごみを投入してまして、ぎりぎりの状態でした。

1炉運転しだして、何とか保っているものの減っていかない、1炉では。何故かという、230度、1,000度という温度で管理していきますと、1日115トン燃やせる炉ですけども、先ほどの話で温度を少し下げないといけない、ここを200度にしないととなりますと、現状70トン燃やすのが精いっぱいです。ときには70トン切ったり、75トンぐらいまで行ったりと、ごみ質によって変わります。平均すると70トンが厳しいところで、入ってくるごみの量と燃やす量が、バランスがとれていない現状で。9月13日以降運転できたにしても、たまったごみが一向に減らないということで、2炉運転しようということになりました。

問題が起きたときは2号炉を運転してまして、1号炉は整備中やったので、すぐに運転できないので、まずは2号炉を水銀対策の改善をして、2号炉を運転かけたのです。続いて、整備中の1号炉の整備を済ませて、水銀対策の改善もして、10月28日に1号炉がようやく動き出したということです。そこからは単純にいきますと、140トンぐらいが1日燃えていきまして、見る見るごみが減っております。

先週には4つとも扉があくようになりまして、通常、何もないうちはごみピットの底から2メートルとか3メートルぐらいのごみがたまりながら運転しているのですが、今はまだ、そこから8メートルぐらいのところにごみがある状態。ですけど、扉が空いていますので、ほぼ通常に近い状態までは来ております。

今、春木さんから話があったように、2炉運転したら契約電力を超えるのと違うか。確かに僕らも最初同じように思いまして。基本的には1炉運転とパイプラインで、契約電力が2,000キロワットにしています。これは余り余裕持っていますと、契約の基本料金が非常に高くなってしまいますので、それはそれなりにぎりぎりのところに持っています。その中で、もう1つの炉を動かしたら2,000キロワットを超えちゃうじゃないかと。これは確かに僕らも思ったので、プラントの運転に影響のないファン、要は建築系のファンをすべて止めたりして、何とか2,000キロワットを超えない状態で、実際運用できているということです。

○利用者の会 換気ファン。

○市 そうですね。かなり大きいものです。一般的な建築のファンより大きなファンがあるのですが、それをとめて回ってやっているということで。結果はうまいこと、2,000キロワットを超えずに運転できております。

○利用者の会 超えてない。

○傍聴者 夏とかはどうなる。

○利用者の会 そうや。

○市 夏はちょっと厳しいかもですね。

○利用者の会 夏は厳しい。

今は超えてないのやね。違約金とか単価とか変わってないということやね。いや、それがパイプラインにどういう影響をしとるかなと思って。

○市 我々も当初、超えるのであれば、何か大きなものをとめないといけない。

○利用者の会 本来やったら違約金を払わないかん。

○市 ペナルティを支払わないといけないので、それをする前に何かをとめないといけないかなと思っていたのですが、実際、そういう建築系のファンをとめることで、何とかクリアできているということです。

資料6裏面。現況で、先ほど前のパネルで説明したような感じになっております。

最後に4番のお願い、こちら先ほど前で説明しましたが、いわゆる、今、2炉運転で何とかごみを減らしていっています。1炉運転では70トンしか燃えない。入ってくるごみが大体80から85トンぐらい入ってきます。多いとき、少ないときがあるので、1年間の平均でいくと85トン入ってきますので、当然1炉だけでは1年間通してやっていけない中で、多いときは2炉運転をやっていくのかという話になりますけど、2炉運転をしますと電気代もかかりますし、吹き込んでいます消石灰とか活性炭とか、いろんな薬品も倍かかってくるということで。

もう1つは、運転時間が長くなってきますので、設備の傷みも、また今よりもひどくなっていくこともございまして、できれば今までのように1炉のみで運転していく。3カ月に一度はとめて、整備してという形でいくのが一番望ましいと思っておりまして。今後1炉でいけるようにするには、まずは70トンをもう少しふやすことができないかということと、皆様にごみの減量をお願いしたいなというのが、ここに書いてあるお願いのところです。

燃やすごみを減らしたいので、分別をしっかりしていきたい。ごみの中を見ている、やっぱり段ボールとか雑誌、チラシ、かなりたくさん紙資源がまじっていることもあって、その辺しっかり分別して、分別すれば燃やすごみの量が減っていくと思いますので、ぜひともそういうところにも今後、こういう視点でも力を入れていかなければいけないと思っておりますので、お願いしたいと思っております。

それと、またこういうことを繰り返したらいかんと思っております。とても大きな影響、皆様にご迷惑もおかけし、費用を使ってしまうことになってしまいましたので、絶対繰り返さないためにも水銀を含むごみ、正しい出し方を我々もしっかり啓発して、皆様にも守っていただきたいと思っております。

最後に参考までに、写真が白黒ですけど、2枚つけています。これは、今説明しました煙突、地上から12メートルのところにつけています水銀の測定器になります。左上の写真が、左側に煙突があって、そこのフランジからガスを抜き取りまして、右側にありますような機械で測定しております。右側の写真の手前が前処理装置で、奥にデジタルのゼロ、ゼロ、ゼロと見えますけれども、こちらが携帯型の水銀測定器で、これで1時間に一度人が行って、ボタンを押して、測定して、確認してということでございます。

私の説明は以上になります。

○利用者の会 大田です。先ほどのお話を聞いて、非常に御苦労さまです。

お聞きしたいのですけれども、展開検査の強化で、非常に大変だと思うのです、抜き打ちにしたとしても。今後もずっと続けて行かざるを得ないとなると大変だと思います。今回、水銀問題が起こって、含有物の訪問回収ですけども、事故後、電話等で回収に伺った経過、経緯はあったのかどうかと。

○市 ありました。

○利用者の会 何件。

○市 これが起こった後、伺ったのが、水銀温度計が6本、水銀体温計が74本、水銀血圧計が8個、あと容器に入った水銀製品が2個ほどありました。昔は水銀の体温計が主流だったので、皆さんのおうちに大分お持ちだったと。まだあると思っておりますけど、ある場合はまた電話いただければ、お宅まで伺うことをしております。

○利用者の会 ということは、非常にチラシの効果があつたと。全市に配られたチラシの緊急報告書かな、チラシの効果があつたのかなということも、啓蒙としては非常に効

果があったなと考えます。今後も1年に一度とか隔年でもいいと思いますけど、やっぱり啓蒙という意味で続けていく必要があるかなと。先ほどの数値を聞いて、非常に驚いているのが1つ。

活性炭の件ですが、非常に高価なものであると聞いております。先日11月22日の新聞、ニュース記事で活性炭の業界が談合をしていたということで、16社談合していて、11社に対して公取から4億3,600万課徴金か賠償金を求められておるということで。この活性炭が全部浄水場とかごみ焼却炉で、公共機関で使われる部分がほとんどだと思います。その辺で、業界から公共機関が値段に関して甘いと違うかと捉えられているということで、芦屋市さんとしても浄水場とかごみ焼却で使われる活性炭に関して、値段をちょっとシビアに、今後見る必要があると違うやろうかと、この間のニュースで考えた次第でございます。

○市 情報提供ありがとうございます。

購入の方法ですが、活性炭もそうですが、先ほどあった消石灰もそうです、いろんな薬品があります。我々がそういうものを購入する際には、芦屋に登録している業者で入札なり見積もり合わせなりをすることになっています。今回、吹き込んでいます活性炭も登録されている業者さんの中で見積もり合わせして、一番安いところの値段で業者を決めて、入れてもらっているということをしております。

○利用者の会 その業者がメーカーからの指定価格、メーカーが談合しておれば、当然卸価格も上がってくると思いますけど、その辺はきちっとチェックする必要があるじゃないかと。

○市 業者さん同士の裏でやっている取引、談合ですか。確かに、我々に見えてくれば、そこは指摘するでしょうし、こうやってニュース、公取委員さんが指摘すれば、指名停止になって入れないことになりますけれども、当然わかれば、そこは取引しない、指名停止になりますので。

○利用者の会 利用者の会の山口です。よくわかりました。ありがとうございます。

確認ですけれども、煙突から水銀が出る量については、規制が去年の4月からかかりました。もう1つは、活性炭で水銀をひっつけるのです。ずっと下におりていって、神戸沖に持っていきます。その水銀の量の規制はないですか。

○市 灰ですけど、尼崎にトラックで運んで、船に載せて神戸に埋め立てています。大阪湾フェニックスセンターさんがやっているのですが、その基準は水銀の溶出ですか、

溶け出す量。その基準はしっかりございまして、当然、それが出るようであれば搬入停止になります。それは水銀に限らず、いろんな項目で規制はかけられております。

○利用者の会 今、現在は問題ないと。

○市 問題ございません。水銀で焼却炉が停止した事はかなり大きなニュースになりました、当然、フェニックスセンターも耳にするわけでございます。そうすると飛んできまして、燃やした灰、しっかり安全かどうか確認してから搬入してくれと。それまでは搬入停止で一旦搬入はとまっております、安全が確認できるまで。一旦止まっていたのですが、分析を出して、安全だと確認されて、それからは通常どおり搬入させていただきます。

○利用者の会 固形化するのですか、その灰のまま。

○市 灰です。実際灰のままですけど、土の中に埋め立てしたときに、水とか土とかに溶出しないように薬で、僕も詳しいことわからないですけど。

○傍聴者 はっきり言って、粘土みたいな状態で、手でつかんだら握れるぐらいの、粘土ぐらいの状態に水抜きして薬品入れて、練り混んだものをほっています。だから、ほこりが立つような状態ではありません。

○市 溶け出さない状況にして、持っていくことになります。

○利用者の会 東京の市場の問題が、あれが。豊洲市場で。

○利用者の会 御検討お願いですけれど、パイプラインじゃなくて、今、御説明していた水銀問題で、焼却炉も長い間とまったということ。

この問題で、林さんが広報のテレビで出ていただいて、それ以降はないと思うので、ここで一段落ついて。これは日本中が注目していることですから、やはり今の状況を、また一番手っ取り早いのはテレビだと思います。ぜひ、今のこういうパネルも使って市民の方にわかりやすく、今はここまで皆さん落ちついたよと年内めどに放送、そういうものを御検討していただきたいと思います。

基本的には情報をみんなに知らせると、現状を。協力をお願いした、さっき体温計とか水銀が集まった、御協力あったその本数を皆さんに感謝の意味でお伝えするし、これは今後も根強く水銀状況を広報で発表していくのが、私は大事な事かなと思うので、御検討が1つと。それはぜひ。

あと、冬場になってきて鍋をよくするので、ガスボンベで、ことし2回パッカー車が燃えた。他市も燃えています。芦屋市の私ども市民に対する指導方法は、完全に使い

切ってくださいねということです。これが国の指導だと思うのです。京阪神の他市であれば、必ず穴をあけなさいという市の指導もあります。ですから、この方針は、私は確実にあけたほうがいいと思いますけど、その辺また早く御検討していただいて、大事なパッカー車が燃える、これはごみ収集している人も気持ち悪いと思います、トラック運転していて、いつぽんと来るのだと。

その辺のことも考えて、2度とパッカー車が燃えると、ガスボンベのために。それをぜひ市役所内で御検討していただいて、市民に対して、こういう規則を言っていたきたいなど、この2点、御検討をお願いします。

○市 1つ目につきましては、テレビになるのか何になるのか考えさせてください。なかなかテレビはハードルが高いので。

2つ目、ガスボンベ。もともと芦屋も穴あけてとやっていたのですけれども、どこだったか穴あけて事故が相次いで出たのです。穴あけるときに、そこで火災が起きる事故が相次いだこともあって、国は各自で穴をあけるのは危ないから、よそうという判断をして。ただし中味を使い切ってから出しなさいとかじを切ったので、芦屋もそれにならって、市民の皆様が危険なことを家でするのではなくて、ただ、しっかり使い切ってから出してくださいねと、国と同じような方向にかじを切っております。ですので、またそれを戻すのは難しいのではないかなとは思っています。

ただ、実際はパッカー車の火災が起きていることもありますので、完全に使い切らせて出してくださいねと伝わり切れてない部分は確かにあるかもしれないので、そこは、今後もしっかりと啓発強化していかないかんと考えております。穴あけてというよりは、しっかり使い切ったものを出してくださいという方向で進めたいと思います。

○利用者の会 春木です。

水銀測定器を設置しますが、これ2系列ついているのか。

○市 はい、2つ。

○利用者の会 2セットあるのやね。1系列で1セットあかんようになったら、即対応できるわけやね。

○市 はい。

○利用者の会 連続計つけるまでの、今後、連続計つけることになるのかわかりませんが、それまでの対応としては十分いけるわけです。わかりました。

大変忙しいと思いますが、ぜひ住民、業者と一体となってやれるように、うまく

発信して行ってほしいと思いますので、ナンバー2の芦屋と言われんようによろしく
お願いします。

ともかく東京23区の清掃組合のホームページには、今回の芦屋市のことが載っています。
ほんとに恥ずかしい。向こうは10年以上前から50マイクログラム以下でやっている
のですよ。何度も止めてますわ、よろしくお願いします。

○利用者の会 時間が超過していると思いますけど、最後に藪田さんがおっしゃられた、
ごみの減量化はごみの分別化に非常に関連していると思うのです。毎週燃えるごみの
日に、燃えないごみの日で、ごみステーションにごみが置かれています。そのとき、
回収されないごみ等も置きっぱなしになったりしています。それが何で置きっぱなし
になっているかを住民に知らせるために、ごみの収集の方もきちっと、これは何で回
収できないかということ、きちっと知らせる必要があるかなど。

きちっと私は見たわけでもないですけど、放置しているな、置きっぱなしになって
いるなという現状を見たことはあります。その辺の混在しているごみも、時々放置さ
れていると思うのです。混在しているから持って帰れないと。もしくは再生利用ごみ、
週、うちだったら火曜日、毎週回収するのですけど、そういうごみも捨ててたら、こ
れは自治会の回収ごみ、再生利用ごみとしての回収品であるので持って帰りますよと
いうことで、収集の方も手間がかかると思うのですけど、そういう人たちも、一種啓
蒙活動を兼ねた活動をしていただけたらなと思います。

○市 置いていかれているごみですけど、例えばそこがごみステーションであって、何か
違うものを出しているから置いていかれたというごみは、シールをつくっていますの
で、そのシールを張って、これはこういう理由でだめです、どこどこへ連絡してくだ
さいねとか、わからないときはどこどこに連絡してくださいねとか、そういうシール
をつくって持って走っていますので、置いてくときはシールを張ると思います。張っ
てないごみが置いてあるのは、収集の人が行った後に出しているかもしれないです。

○利用者の会 可能性はあるね。

○市 可能性はね。

○利用者の会 きちっと張ってある、分別はしてある。

○市 置いていくときには張っていきますので、張ってないということは、もしかしたら
そうかもしれないなと思います。

○利用者の会 この間見たのは、低い街路樹、高いじゃなしに低い。その上にどんと置か

れたやつもあったのです。何故かと。

○市 そこがごみステーションじゃないと、それってごみなのか、誰か要るものを仮に置いていいのか、それとも集団回収のごみなのか、わからないときがあるので、ごみステーションじゃないところのごみは、手をつけられない場合もあると思うのですよ。

○利用者の会 ごみステーションのところで、低い街路樹の上にどんと置きっぱなしになっとる。

○市 いろんな可能性があると思いますけど。基本はシール張ってます。

○利用者の会 再生利用ごみなんかもシールがあるわけ。これは再生利用ごみで。

○市 1枚のシールで、確かチェック入れる欄があって、それはわかるようになっていると思います。こういう理由で置いて帰りますよというのが。その場で書くのは大変なので、何とおりか書いてあって、どれかにチェック入れる形になっているはずですよ。

○利用者の会 よく見てるのですよ。

○市 ありがとうございます。

時間も押してしまいましたけども、よろしいですか、最後。

今後のスケジュールで、次回の協議会。今回、先ほどの水銀の件で私どものほうばたばたしてしまいまして、1カ月延期させてもらって、今回3カ月あいてしまったのですが、次回はまた予定どおり2カ月後で1月にしたいと思いますけど、25日の土曜日、皆様御予定はいかがでしょうか。よろしいですかね。もしよければ25日土曜日、10時から12時で、またここでお願いしたいと思います。

あと、ワーキング・グループが12月18日水曜日の14時から、ここでやります。もしお時間がございましたら出席していただきたいと思います。

議題は以上になります。ほか特によろしいですかね。

時間が押してしまい申し訳ありません、これで終了とさせていただきます。ありがとうございました。